

お菓子の香梅(熊本  
市中央区、副島健史社  
長、096・366・  
5151)は、数々の  
銘菓を手がける。「誉  
の陣太鼓」や「武者が  
えし」は熊本土産では  
定番の人気商品だ。  
これら主力商品を製  
造する阿蘇西原工場  
(熊本県西原村)は、  
2016年の熊本地震  
で甚大な被害を受け  
た。19年3月に復興の  
シンボルとして新工場  
を落成した際、武者が  
えしを製造するパイマ  
んじゅうのラインも更  
新。過熱蒸気発生ユニ  
ットを導入した。

## お菓子の香梅

同社が導入したのは  
マスダックマシナリー  
(埼玉県所沢市)製の  
過熱蒸気発生ユニット  
「ヒートプラス」。複  
数のオーブンメーカー  
の製造マシンで製造試

# モノづくり現場

エレクトロヒート技術最前線

11

## 過熱蒸気発生ユニット



験し、菓子の仕上がり  
の良さが決め手となっ  
て最終的に同製品を導  
入した。投資額の詳細

## 熱源多様、品質高める

阿蘇西原工場長)とい  
う。

は明らかに ヒートプラスの1番  
していない 特徴は多様な熱源を  
が「システ 使う点だ。ガス式トン  
ムとライン ネルオーブンの遠赤外  
全体で数億 線による焼成に、オプ  
円を投資し ション熱源として過熱  
た」(角谷 蒸気を加え、焼成す  
亮司取締役 る。同工場ではガス式  
過熱蒸気発 トンネルオーブンの仕  
生ユニット 上げとなるゾーンにヒ  
(写真奥を ートプラス1台を設置  
導入したお した。  
菓子「武者 工場と設備の新設で  
がえし」の は、グループ補助金を  
製造ライン 活用することによって  
震災からの復旧を目指

した。全体の生産能力  
に大きな変化はなかつ  
たが、新設備導入で菓  
子の品質が大きく向上  
した。  
角谷工場長は、定番  
商品こそ進化すべき  
が持論だ。「ヒートプ  
ラスを使うことで、外  
はカリッと、中はふっ  
くら。焼き色も良く、  
サクサクした食感が長  
く続くようになった。  
バターの香りやおいし  
さがよく出ていた」と  
胸を張る。

電力使用量は新工場  
における設備増強に伴  
い増加している。だが  
電気料金では、電力契  
約の見直しや機器の省  
エネルギー設計によ  
り、大幅な料金増加は  
回避している。日頃の  
電気使用量の管理は、  
電力の使用上限を設  
定。上限値近くになる  
と警報を知らせる「デマ  
ンド監視装置を利用し  
た電力の見える化」  
で管理している。  
(九州中央・勝谷聡)

【事業所概要】▽所在地▽熊本県西原  
村小森3590の3、096・279・  
2501▽主要生産品▽和菓子、洋菓  
子、あん類▽年間CO<sub>2</sub>排出量合計▽1  
884ト(19年度見込み)